



～なごみ～

小川赤十字病広報誌

1



骨粗鬆症について

副院長 山崎 克彦



当院は、地域医療の要として、超高齢社会における地域住民の方々の多様なニーズに応えることを使命としています。病院全体の患者様のうち、整形外科には70～90歳の高齢者の方が多く来院されています。その中で、脆弱性（骨がもろくなる）骨折は、大腿骨近位部骨折と椎体骨折で年間100例以上の方が入院しています。脆弱性骨折の根本原因である骨粗鬆症の治療が、十分に行われていないため再骨折による入院が少なくありません。

2040年に日本では、大腿骨近位部骨折は約30万人発生すると推測されています。一度大腿骨近位部骨折を起こした女性は、5年以内に二次骨折するリスクは骨折していない女性の17倍、両側骨折は、片側骨折の方より死亡率が2.5倍高いと報告されています。患者様側の問題点としては、高齢者の方はそもそも服薬量が多くて、薬の種類が増えることに抵抗があること、無症状である骨粗鬆症に対する病識が低いこと、色々な原因で通院自体が困難になること、といった背景があります。骨粗鬆症治療率は、骨折後1年では約20%と低い状態です。患者様やご家族に再骨折予防の意識をもってもらうことが重要になってきます。

そこで、小川日赤も骨粗鬆症、骨折リエゾンサービスを2022年に立ち上げました。リエゾンとは、連携係・連絡窓口などを意味するフランス語です。骨折リエゾンサービスの目的は、二次骨折予防です。脆弱性骨折を起こした患者様の、【骨粗鬆症治療開始率】【治療継続率】を上げ、リハビリテーションの視点から転倒予防を実践することで二次骨折を防ぎ、骨折連鎖を絶つことを目指します。従来報告では、骨折リエゾンサービスで、骨折リスクを低減、骨粗鬆症治療への好影響、生活の質の改善が報告されています。皆様のご期待に応えられるよう、病院、スタッフ一同努力いたします。皆様方には、骨粗鬆症に関してご不明な点・ご質問ございましたら、お問い合わせください。



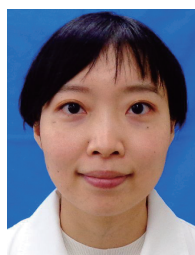
目次

骨粗鬆症について	1	骨塩定量検査について	4
新任医師紹介	2	当院では、睡眠時無呼吸症候群の検査を行っております	5
認定看護師を紹介します	3	連携施設のご紹介、ご案内	6

基本理念

患者さんの安心と満足のために、地域の中核病院として総合的な医療を提供します。

新任医師紹介



内科(総合診療内科)
平田 まりの 先生

令和4年9月より小川赤十字病院内科に赴任しました平田まりのと申します。自治医科大学を卒業し、さいたま市や秩父地域を中心に地域に根差した医療に携わってきました。小川赤十字病院では、主に内科の救急外来や入院を担当いたします。一人ひとりの健康状態や価値観を考えて治療を行い、安心して日常生活を送れるように尽力していきたいと思っています。



内科(総合診療内科)
今井 崇紀 先生

令和6年4月より小川赤十字病院内科に勤務しております今井崇紀と申します。私は自治医大の卒業生で、前年度は自治医科大学附属病院総合診療内科で勤務しておりました。専門は総合診療内科です。原因不明の発熱、マルチプロブレムで何科か悩ましい症例など、内科系でお困りの症例は何でもお気軽にご紹介ください。どうぞよろしくお願いいたします。



内科(リウマチ科)
江本 恭平 先生

2023年10月から小川赤十字病院リウマチ科に赴任しました、江本恭平と申します。

以前は埼玉医科大学病院リウマチ膠原病科に所属しておりました。大学病院での経験を生かし、地域の皆様のニーズに応えられるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



内科(リウマチ科)
長尾 菜摘 先生

令和6年4月より小川赤十字病院内科に勤務しております、長尾菜摘と申します。自治医科大学の地域派遣で、秩父市立病院、深谷赤十字病院で勤めた後、埼玉医科大学病院リウマチ膠原病科で1年間後期研修し、今年度勤務させていただくことになりました。様々なご縁を大切にして、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。



整形外科
堀越 隆二 先生

令和5年4月より小川赤十字病院整形外科に勤務しております、堀越と申します。専門部位は特にありませんが、小児～高齢者における骨折、感染症等の急性期疾患から、変性疾患など幅広く診察するように心掛けています。また、当院は二次性骨折予防にも力を入れており、骨粗鬆症の治療も重点的に行っておりますので、お困りの際にはご相談いただけたらと思います。



整形外科
榎本 郁子 先生

令和6年7月より小川赤十字病院整形外科へ勤務しております。

同じ比企郡出身のため、地域で役立てるよう努力します。





皮膚科 青笹 尚彦 先生

令和5年1月から小川赤十字病院皮膚科に勤務しております青笹尚彦と申します。令和3年度から埼玉医科大学病院皮膚科にお世話になり、その後異動して参りました。近隣の医療に少しでも貢献できますように頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



放射線科 土橋 佐紀 先生

2023年6月より小川赤十字病院放射線科に勤務しております土橋佐紀と申します。専門分野は画像診断（主にCTおよびMRI）と核医学です。頭部から体幹部、関節領域まで幅広く読影しております。放射線科を通じて地域医療に貢献できるよう、精一杯努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

認定看護師 を紹介します



小川赤十字病院
認定看護師

認知症看護認定看護師

大石 留美子



今回は、認知症看護認定看護師としての役割と実際の活動内容をご紹介します。

認知症看護認定看護師の役割は「実践」「指導」「相談」の3つを実施し、認知症における病院・地域全体の看護の質を高めることです。

実際の活動内容は、「実践」認知症のある方やご家族に対しての最適な看護はなにか、認知症における専門知識にもとづき判断し、スタッフと協力してケアを実践しています。

「指導」認知症ケアチームの一員として病棟巡回を実施し、認知症における多彩な症状への対応方法を指導しています。「相談」認知症のある方やご家族、看護師に対し、現場で直面する問題や疑問などの相談に乗り、改善策を導き出せるように支援しています。活動場所は多岐にわたり、院内では認知症ケ

アチーム活動・レッドクロスカフェ（現在休止中）・もの忘れ外来、院外では他施設や病院、学校への派遣講師・小川町認知症初期集中支援チーム員として活動をしています。

今後も認知症看護認定看護師として院内外の方達と協力をして、認知症のある方とご家族への支援を行っていききたいと思います。認知症に関してなにかご相談等がありましたらお気軽にお声がけください。

ご相談がありましたら、気軽に
ご連絡ください



骨塩定量検査について

骨塩定量とは

骨塩定量測定とは、DXA法という測定方法でX線を用いて骨の密度を測定する検査です。人体はX線の透過という観点で見た時、骨と軟部組織からなる2成分系として考えることができます。この性質に着目すると、異なる2種類の放射線を交互に人体に照射し、人体を透過した後のX線の減弱を測定することにより各々の成分量を定量することができます。骨粗鬆症による骨折リスクの評価には骨折の好発部位と同じ部位の骨密度測定が有効であるため、腰椎、大腿骨、前腕（橈骨）で測定を行います。当院では腰椎・大腿骨で測定を行います。



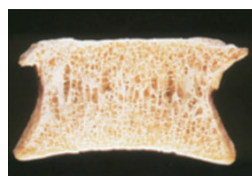
腰椎測定



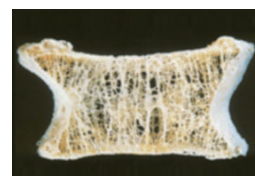
大腿骨測定

骨折の原因となる骨粗鬆症とは

わが国では、人口の急激な高齢化に伴い骨粗鬆症の患者が年々増加しており、その数はおよそ1300万人と推測されています。女性は65歳を過ぎると約半数が、男性は75歳を過ぎると約20%が罹患しています。健康な骨に比べて骨粗鬆症の骨はスカスカの状態になっています。このように骨密度が低下し、骨粗鬆症になると骨折しやすくなってしまいうため、骨折のリスクを評価するために骨密度測定を行います。



健康な骨



骨粗鬆症の骨

当院の骨塩定量装置

東洋メディック社製
HorizonX線骨密度測定装置
(令和6年3月に新装置導入)



所要時間

検査時間は計測部位で異なりますが更衣も含めて約5～15分程度です。

検査当日の持ち物

- ・診察券または受付票
- ・検査案内用紙または検査予約用紙

検査の流れ

①受付

放射線科窓口16番にて受付をお願いします。ご本人確認のため、診察券または受付表をお出しく下さい。第5撮影室にて検査を行います。

②着替え

撮影は基本的に腰椎と大腿骨です。撮影する部位に金属やプラスチック類がある場合は外していただくか、着替えていただきます。詳しくは下記の【検査前の注意点】をご参照ください。

③撮影

装置の寝台に仰向けで寝ていただき測定を行います。撮影時間はそれぞれ30秒ほどで終了します。

・腰椎

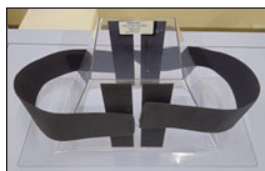
膝を屈曲させるため、膝下に『腰椎クッション』を入れます。両上肢は体幹部の横においた状態で測定を行います。



腰椎クッション

・大腿骨

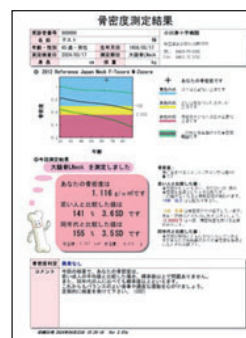
両下肢を伸展した状態で両足の間に『大腿骨補助具』を置き、軽く内股にします。両上肢は胸部の上に置いた状態で測定を行います。



大腿骨補助具

④終了

撮影終了後、更衣をしていただき検査終了です。検査当日に診察があり結果説明が行われる場合、骨密度測定結果をお渡しします。解析結果が出るまで5～10分ほどかかりますので検査室外の待合でお待ちください。



検査前の注意点

撮影範囲内に以下のものを身につけている場合、画像に写り支障となりますので避けていただくようお願いします。

- ・金属類（ズボンなどのファスナー、下着の金具など）
- ・プラスチック類（ボタンなど）
- ・プリントなどが付いた衣服
- ・貼り薬（湿布、カイロ、エレキバンなど）

撮影時、検査着への着替えや服の脱衣へのご協力をお願いいたします。

当院では

睡眠時無呼吸症候群

の検査を行っております

睡眠時無呼吸症候群とは、成人男性の3～7%、成人女性の2～5%程度に見られる比較的頻度の高い病気です。睡眠中に何回か呼吸が止まってしまい夜間に中途覚醒をしたり良質な睡眠が妨げられてしまい日中の強い眠気、居眠り運転による事故につながります。また、無呼吸になる事で体内の酸素量が不足しがちになり全身に負担がかかってしまい高血圧、心臓循環障害、脳循環障害などに陥るといわれています。

主な原因としては肥満ですが、性差、加齢の他に顎が小さい、舌が大きい、扁桃が大きいなどの生まれつき身体的特徴が原因となる事もあります。

次に症状ですが、『イビキがひどい』『起床時の頭痛やだるさ』『日中いつも眠い』『夜間に何度も目が覚める』等が挙げられます。症状が当てはまる方、『肥満』『高血圧』『無呼吸を指摘された事がある』等、症状以外にもこれらの事が当てはまる方は一度当院で検査をしてみたいかがでしょうか。受診から検査までの流れは下記の通りです。当院では新規にアプノモニターを導入しました。1泊2日で入院して頂いて検査を行い後日内科外来にて検査結果の説明を行い今後の方針を決めていただく形となります。

アプノモニター検査までの流れ

内科受診※1

入院日決定

検査※2

後日、結果説明し
今後の方針決め※3

- ※1 内科受診の際には、ご予約をお取りくださる様お願いいたします。
- ※2 検査は個室で行います。20時半過ぎに機器を取り付けます。翌日の朝機器を取り外します。
- ※3 結果は検査から2週間後を目安にです。検査結果により経過観察・他院にて精密検査・CPAP導入になります。



ご家族で夜間に呼吸が
止まる方、是非受診を
お勧めして下さい。



睡眠自己チェック表

11点以上だと睡眠時無呼吸症候群の疑いが強いと考えられます。

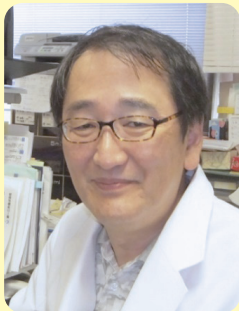
5点未満 → 日中の眠気
5～10点 → 日中の軽度の眠気あり
11点以上 → 日中の強い眠気あり

	眠くなる事 が多い	時々 眠くなる	まれに 眠くなる	眠くなる事 はない
1. 座って読書をしている時	3	2	1	0
2. テレビを見ている時	3	2	1	0
3. 人が大勢いる場所（会議中や劇中等）で座っている時	3	2	1	0
4. 他の人が運転する車に、休憩なしで1時間以上乗っている時	3	2	1	0
5. 午後、横になって休憩している時	3	2	1	0
6. 座って人と話している時	3	2	1	0
7. 飲酒をせずに昼食後、静かに座っている時	3	2	1	0
8. 自分で車を運転中に、渋滞や信号で数分間止まっている時	3	2	1	0

合計

点

睡眠時無呼吸症候群は治療法も確立されており、適切に検査・治療を行えば決して怖い病気ではありません。
上記の睡眠自己チェック表で11点以上の方、症状がある方は検査をお勧めしております。



内田医院
院長 内田 博之 先生

〒355-0328 埼玉県比企郡小川町大字大塚149-1

TEL : 0493-72-0516 <http://uchida.dr-clinic.jp>

診療科目 内科、小児科

ホームページは
こちらから



地域に密着した診療を心がけております。

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前	9:00~12:00	○	○	休診	○	○	○	休診
午後	15:00~18:30	○	○	休診	○	○	—	休診
	13:00~15:00	—	—	休診	—	—	○	休診

※受付は診療時間終了の30分前までにお願いいたします



ご 案 内

当院では新型コロナウイルス感染症対策として、入口での体温チェック、手指消毒およびマスクの着用をお願いしております。今後の動向により変更もございますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。最新の状況は当院ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連ページ」をご覧ください。
(上記は、2023年12月末時点での対応です。)

診療受付時間

8:30~12:00

※各診療科、各曜日において受付時間が異なりますので最新の情報は当院HPにてご確認ください、各科外来にお問い合わせください。

休 診 日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)、創立記念日(5月1日)

受診に際して

各診療科の特殊外来や専門外来は、一般外来の受診後のご予約となります。
当院では紹介状をお持ちでない患者さんにつきましては、国の定めに基づき診療費の他に選定療養費をご負担いただいております。当院受診の際は、紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。
※紹介状をお持ちの方はご予約が可能です。医療連携室(本館2階)へお問い合わせください。

受診時の持ち物

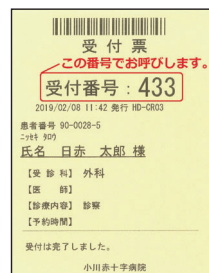
保険証・診察券(お持ちの方)・現在飲んでいられるお薬等をご持参ください。

お呼び出しについて

内科・外科・整形外科外来では、受付票の番号にてお呼びしております。

急病等の時間外診療について

診療受付時間外は、必ず電話連絡の上ご来院ください。
なお、救急医療の機能向上を目的として、緊急性を要しない(いわゆる軽症の)患者さんの時間外受診には、診療費の他に時間外選定医療費をご負担いただいております。ご理解をお願いいたします。
詳しい内容については医事課までお問い合わせください。



病院情報はここから

ホームページ

<https://www.ogawa.jrc.or.jp>



スマホ用